

平成 30 年度 第 6 回四條畷市補助金制度在り方検討会 議事摘録

- 日 時 平成 30 年 9 月 25 日（火） 10 : 00～10 : 45
- 場 所 四條畷市役所 本館 2 階 ミーティングルーム
- 出席委員 = 5 名 : 辻委員、施委員、坂本委員、藤岡委員、増田委員
- 欠席委員 = 0 名 :
- 傍聴者 = 0 名
- 事務局 = 2 名 : 賀藤地域協働課長、宇都宮地域協働課主任

担 当	内 容
事務局	<p>委員の皆さま、本日は第 6 回検討会に、ご多忙の中ご参集いただき誠にありがとうございます。</p> <p>まず初めに、本日は欠席委員はなし、また、傍聴者はいない旨ご報告させていただきます。</p> <p>ここで、会議に入ります前に、配布資料の確認をさせていただきます。まず、A 4 ホッチキス留めの四條畷市公募型協働のまちづくり提案事業補助金交付要綱の案、それからクリップ留めになっております、審査要領の案、それから A 4 1 枚刷り裏表の募集要領の案、最後にてびきの案、以上となっております。資料の配布漏れ等ございませんでしょうか。</p> <p>なお、本日も円滑な議事の進行にご協力いただき、概ね 1 時間程度で会議を終了したいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、この後の進行に関しましては委員長よろしくお願いいたします。</p>
辻委員長	<p>どうも皆さんおはようございます。</p> <p>これまで皆さんにご検討いただいて、本日が最終になるという事になるかと思っております。四條畷市公募型協働のまちづくり提案事業補助金という事で、まずは事務局から、前回の会議からの変更点等について、配布資料の説明をお願いします。</p>

事務局	<p>まず交付要綱の案をご覧ください。1枚めくっていただきますと、第4条のところで、前回の議論を踏まえ、補助率に関して、2分の1「以下」となっていた部分の「以下」を削除しています。要綱に関しての変更点は以上です。</p> <p>次に募集のてびきをご覧ください。2枚めくっていただいた番号9の全体スケジュールに関して、具体的な日にちを記載しています。次ページには、今後の予定の話にはなりますが、2次審査の具体的な日時を記載しております。てびきに関しては以上となります。</p> <p>次にA4両面刷りの募集要領に移ります。これに関しても、補助限度額の2分の1「以下」の「以下」の部分削除しています。また、この募集要領については、イラスト等を加え、市の方で見やすい形に変えていきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。</p> <p>次に審査要領をご覧ください。前回ご指摘のあった、第2条の「審査」について、市の役割と検討会の役割を切り分けて整理しました。その他、第4条第2項の検討会の審査事項を限定的にしたことに伴い、様式番号等の整理を行いました。次に1枚めくっていただいた第6条について、前回までは足きり点を設けていましたが、検討会では採否について決定をしないという事で、削除することといたしました。</p> <p>前回からの変更点は以上となります。</p>
辻委員長	<p>今の説明に関して、何かご意見、ご質問はありますか。</p>
藤岡委員	<p>てびき案の、9番の全体スケジュールに関して、①～⑤番と、⑦～⑨番の表記が、平成の元号の有るなしで統一感がないので、併せておいた方が良いと思います。あと、8の事業実施期間や11の募集期間が、9の全体スケジュールと重複しているので整理した方が良いと思います。</p>
事務局	<p>今ご意見をいただいた部分に関しては、事務局で検討させていただいて分かり易いように整理させていただきたいと思います。</p>

事務局	<p>今スケジュールの話が出ましたので、今後の話を整理というかおさらいをしておきたいと思います。</p> <p>一応今日で、この検討会における新しい公募型の補助金制度の検討は最後という事になります。今日の検討会終了後、遅くとも10月の下旬頃までには市で交付要綱と審査要領についての決裁を経て、制度としては成立する形となります。</p> <p>その後、議会を含め、関係機関や市民団体に情報提供を行った上で、11月15日の広報誌発行日に併せて募集を開始します。募集期間は12月17日までの1ヶ月間を見えています。</p> <p>募集期間終了後、1月30日に再度この検討会を開催し、今回策定した審査要領に基づく1次審査を行います。1次審査終了後、申請団体あて結果を通知を行いながら、2月24日の日曜日になりますが、2次審査のプレゼンテーションを行うという流れになりますので、各委員ご予定をお願いしたいと思います。</p>
藤岡委員	<p>2次審査で25点満点の採点をして、最終的に平均点を出すという事で、上位者から順番が決まってくる、その中でどの団体までが補助金をもらうかという部分についてはどうなっていますか。</p>
事務局	<p>この検討会では、各委員がそれぞれ思う点数を付けていただきながら、単純にその結果としての平均点と備考欄の記載を市にフィードバックしていただき、市の予算の範囲内で補助金を交付していくという形になります。具体的には、てびきの14番に記載していますが、2次審査の得点の上位者から補助金を獲得していった、予算額に達した時点で終了ということになります。</p>
藤岡委員	<p>予算枠があって、それに収まりきる分の優先順位を付けるという事ですね。</p>
事務局	<p>そうですね。補助金を交付する事業の数ではなくて、あくまでも予算枠の範</p>

	<p>圏内という事ですので、上限200万円となっていて予算枠が仮に2,000万円とすると、最小で10事業という事になります。</p>
施副委員長	<p>1次審査は採点しないという事でしたね。</p>
事務局	<p>そうです。各委員それぞれ○か×という判断をしていただく形を想定しています。1次審査は企画提案の関する部分だけを見ていただく予定です。</p>
藤岡委員	<p>資格要件に問題がなければ○という事で全て2次審査に行くという事ですか。</p>
事務局	<p>1次審査は、市で资格的な要件を見た上で、問題がないものをこの検討会の1次審査のテーブルに載せても良いかという市内部の決裁を経て、残ったものの企画提案に関する部分についてのみ、この検討会で○か×の判断をしていただくという想定をしています。ですので、1次審査については点数評価をしないので、足きり点という考え方もないという事になります。</p>
藤岡委員	<p>であれば、こういったものが1次審査で落ちるという事になりますか。</p>
事務局	<p>基本的には市の判断という事になるかと考えています。ただ、諮問する形を取るので、検討会からの答申で○になっているものを市の意思決定として×にするという事は難しいかと思えます。いずれにせよ、事業の採否をこの検討会で決定はしないという事です。</p>
藤岡委員	<p>企画提案力の部分でいまいちだと判断して、審査表のチェック欄の「ある」にチェックがつかない場合はどうなりますか。</p>
事務局	<p>審査表の最下段の審査項目欄に×が付く形になると思えます。</p>

藤岡委員	<p>×になれば審査を通らないという事ですか。</p>
事務局	<p>ただ、委員は5人おられるので、例えば1人×で4人が○のパターンであるとか、3人○で2人が×のパターンもあると思います。</p>
藤岡委員	<p>という事は審査表の企画提案力の部分に全員が「ある」というチェックをしたものだけが審査を通るという事ですか。</p>
事務局	<p>そのあたりの基準的なものについては今は設定していません。最終的に個々の委員の○や×を積算した人数が出てきますが、それについて市にフィードバックいただいたものを参考に市の決裁で決定するという形になると思います。</p>
施副委員長	<p>審査する我々の側からすれば、○か×かどちらかで判断するというのが難しいケースというのが多々あると思います。だからこそ1次審査、2次審査と2段階踏んでいるという事もありますし。判断に迷うケースの場合、例えば書面上は良い企画だけれども、実際のプレゼンを見て大丈夫かなと思うものであったり、その逆もあると思います。</p>
事務局	<p>そのあたりのニュアンスは、審査表のその他の自由記述欄のところに記載していただく形で考えています。例えば書面上はあまり優れた提案ではないけれども、プレゼンの場で直接聞いてみたい内容であるなど、具体的に記載いただければと思います。</p>
辻委員長	<p>今市で決裁を上げたものが1次審査に出てくるという話をされましたが、少し認識が違っていると思います。</p> <p>1次審査は、市で形式的な部分を査定したものが全て1次審査に上がってきて、その中で我々が、例えば市の評価は悪いけれども、企画内容自体は面白いといった事を答申して、それを参考に市長が決裁をするというイメージを持っ</p>

	<p>ているのですが。</p>
事務局	<p>過去の議論で形式審査はこの検討会ではすべきでないというか、できないだろうという議論があったかと思いますのでこのような形になっています。</p>
辻委員長	<p>全ての申請がこの検討会上がってきて、それを我々が見る、例えば市の評価が今一つであったとしても我々がこれは面白いのではないかという意見を付ける、でも最終的にそれを審査するのは市だという認識で、そうしないとここで言う1次審査の前に、市で行う審査があると、審査が3段階になってしまうのではないかと思うので、それは少しおかしいのではと考えています。</p>
事務局	<p>意思決定の観点で、市で決裁を経てダメだと判断したものについて、この検討会でそれを覆す判断をするというのは少し難しいのではと思います。</p>
辻委員長	<p>覆える可能性はあるかもしれませんが、よほど内容がひどいものは別にして、基本的には僕はそういうケースはないと考えていて、ただ、すれすれのボーダーというか、そういった事も想定されるのではと思っています。</p>
事務局	<p>今検討している内容は、委員長がおっしゃっている事とは逆で、市は形式的なところしか見ずに、提案内容については完全にスルーでこの検討会にあがってきて、内容については検討会で審査して、その結果を市で判断するという作り方になっています。つまり市のフィルターは形式的要件に限るという事になりますので、極端な話、形式的要件さえ満たしていれば、内容がどんなものであってもこの検討会にはあがってくる事になります。</p>
辻委員長	<p>そうすると審査の手順というのは3段階になるので、それをどう取るかですよ。</p>
事務局	<p>そうですね。市の形式要件を1次審査と考えるならそういう事になります</p>

	ね。
施副委員長	僕は、今言われた市の形式要件に関する審査が事実上の足きりだと思っています。我々は市の内部の状況は見えない部分が当然ありますから。
藤岡委員	考え方としては、市の形式審査では、適格要件をクリアしているかのチェックをして、提案のあったものはとりあえず全てこの検討会での1次審査にあげる、ただ、あげる前に委員で情報共有を図っておいて、1次審査の前に質問内容を整理しておくというふうにしておけば良いのではないのでしょうか。
施副委員長	そうしていただいた方が我々は議論しやすいですね。
辻委員長	そうですね。内容が分かり易いですよね。なぜこれが落ちるのかとか。
藤岡委員	いきなり当日審査に臨むより、事前に形式審査はこうであったという事を提示するという事ですよ。
事務局	何回か前の検討会の議論で、資料を事前送付するという話をしていましたね。
辻委員長	形式審査でこれは不採択にするというグループと、形式要件は満たしているというグループと両方出してもらえれば良いのではないのでしょうか。
事務局	件数にもよりますが、ここが形式要件を満たしていないので不採択になりますといった説明はさせていただくつもりです。
藤岡委員	不採択になった団体に対して、育成の意味も込めて理由を伝えたりはするのですか。

増田委員	<p>窓口対応で、明らかに形式的要件を欠いている申請書に対して、補正が必要であることを指摘するといったことはありますよね。ですので、そんなに実務上影響はないのかなと。</p>
辻委員長	<p>基本的に、事務方の方でチェックをする、それは良いと思いますが、提案のあったものを全て見て、こういう理由で不採択になります、我々とすればそれで良いと思います。</p>
藤岡委員	<p>それで、1次審査のこの検討会の場で、審査ではなくて、2次審査に臨むにあたって、この書類に書いてあるこれはこういう事ですよといった議論をしておいて、プレゼンの時に質疑をするという形ですよ。</p>
事務局	<p>イメージ的には1次審査というよりはプレゼンの前の事前の情報共有といった意味合いが強くなるかもしれないですね。</p>
藤岡委員	<p>もちろん、ちゃんと形式要件を満たしているかという審査も大事かと思えます。そもそも受理をするかという事もあります。</p>
辻委員長	<p>我々が個々に詳細な内容を見る時間がない位の提案の数があれば一番良いですね。</p>
増田委員	<p>この1次審査、4条1号2号にある市で見る部分と、我々が行う3号の内容の検討は並行で進んでいくという事になると思いますので、この検討会の場に出てくる前に既に不採択が決定されている訳ではありません。1号2号のこの部分は不適切ではないかといった意見を事務局から資料に付しておいていただければ、我々は3号を検討するので、そこに対してどうこう言う事はしないですが、これは3号の観点から見ると面白いからなんとか採択できないかといった意見を付記するといったやり方が、役割分担としては良いのではないかと</p>

	<p>思います。1号2号の形式的な部分に我々が踏み込んでここをこう改善した方が良いと言うよりも、3号の観点からは非常に面白く企画力はあるといったように自由記述のところで表現した方が良いかと思います。</p>
事務局	<p>いずれにせよ、この検討会のテーブルにあげる前に、行政内部で意思決定を行わないという事ですね。</p>
施副委員長	<p>今年度の審査はこれまで話をしてきたような内容で問題ないと思いますが、来年度は、既存の団体も含めて件数が増えてくれば少し1次2次の審査のやり方も変えていく必要があるかもしれませんね。ボリュームの問題で。</p>
藤岡委員	<p>初めてする取組みですので、やってみないと分からない部分もありますしね。</p> <p>話は変わりますが、プレゼンの時間は5分というふうに決まったのでしょうか。</p>
事務局	<p>最大5分という書き方ですね。</p>
藤岡委員	<p>5分は少し短いかなという印象です。</p>
事務局	<p>発表主体がプレゼンする時間は最大5分で、プレゼン後に検討会の委員からの質疑応答を行いますというてびきの表現にして、特に時間を記載していないので、ディスカッションを行う余地はあるという形です。</p>
藤岡委員	<p>事業概要を説明するだけでも5分で大丈夫かなという感じはします。よく、プロポーザルとかでは10～15分位は取りますし。</p>
事務局	<p>行政が発注するプロポーザルは事業規模が大きいというのものはないですか。例えば市役所でこういうシステムを導入したいからというのであれ</p>

	<p>ば確かに時間はかかると思います。今回は、ある程度のものが書かれていて、事前に我々も書類に目を通している中で、気になるところをかいつまんで質疑をする形で2次審査を行う訳ですので。</p>
藤岡委員	<p>ただ、他の団体などもプレゼンを聞くという場にするのであれば、事業概要を初めて聞く人もいるので、もう少し長くても良いのかなという気がしました。ただ、件数が多いと大変にはなりますよね。</p>
事務局	<p>どう考えるかですよね。プレゼン5分で質疑を10分位で見て、1団体15分位で全体の時間を計算していくというように。</p>
辻委員長	<p>5分が長いか短いかというのは当然内容によって変わってきますよね。</p>
事務局	<p>プレゼンにはなかったものを各委員の質問で引き出すというか、おそらく緊張もされるでしょうし、皆さんの質疑の中でサポートいただければと思っています。</p>
辻委員長	<p>私の経験で言えば、建築学会の発表の時間は5分です。まあ、本当に中身によろしいとは思いますが。ある面から言えば、5分で簡潔にまとめるという事も発表者に求められる事ではあると思います。</p>
事務局	<p>以前増田委員は、ご自身の経験で、5分は長いのではとおっしゃっていただきましたよね。今辻委員長がおっしゃったのは学会のレベルですが、今回発表するのは多くは一般の方で、一般の方ではそれは少し長いのではないかという趣旨のご意見があったかと思います。</p>
増田委員	<p>私は、プレゼンの訓練を積んでない方に5分というのは長いと考えています。基本的には書面で内容は全部出ていると思いますので、それをパワーポイントや動画で強調したり分かりやすく表現したりしたい部分に絞ってプレゼ</p>

	<p>ンをしていただければ良いと思います、といった事をあらかじめ説明して、そこに絞ってプレゼンをすれば5分でも十分ではないかなと思います。</p> <p>逆に全体の概要を5分で効率よくまとめて説明してくださいという言い方をしてしまうと、内容によっては委員長のおっしゃるとおり5分では難しくなると思います。</p>
施副委員長	<p>やりたい事業の概略、なぜ四條畷にとってこの事業が必要なのか、それをなぜ自分がやりたいのか、この3点を強調してもらえれば良いと思っています。</p>
辻委員長	<p>今回が初めての取組みですので、どのくらいの応募があるか分かりませんので、とりあえず5分という事で決めておいて、実際どうなるかというのを見てみた方が良いでしょうね。いろんな発表者の方のご意見も聞きながら、もう少し時間が欲しいですねといった事を実際に聞いてみてという形で。</p>
事務局	<p>一方では藤岡委員がおっしゃったように、今回公開でプレゼンテーションを行うので、公開でやる意味という部分で、補助金が欲しいという以外に、こういう事業があるという事を他の団体や市民に周知するという意味合いもあると思います。事業を知る事によって自分も参画したいといったような、市民団体の育成というか波及効果や活動の活性化といった部分も期待できるのかなと思っています。</p>
辻委員長	<p>逆に10分話してくださいというのも難しいでしょうね。</p>
藤岡委員	<p>プレゼンするのは代表者1人だけでしたかね。</p>
事務局	<p>最大5人までという事にしています。</p>
施副委員長	<p>3分でも短く思うかもしれませんが、結構しゃべる時間はありますよ。</p>

坂本委員	実際には長いですね。
辻委員長	僕も授業で学生に課題の発表をさせますが、3分と設定してもちゃんと3分でする人もいれば、1分位で終わってしまう人もいて、実際は様々ですね。確かに3分で自分の思う事をしゃべろうと思うと、よほど考えていかないと難しいです。ですので、プレゼンの時間は5分という事で良いのではないですか。
増田委員	<p>おそらく5分でも長いと思いますから、私は最大5分というのは良い表現だと思っています。</p> <p>以前坂本委員が花を植える事業の話をしていましたが、プレゼンをしてみれば、おそらく「花を植えたい」「すごくきれいです」「皆さんに喜んでもらいたい」という熱意を伝えて終わりという短いプレゼンもあると思います。でもそこが一番大事なところで、やはりその人の花を植える事に対する熱意がそれで伝われば、想いのプレゼンとしては大成功で、聞いていて一緒にやりたい人も出てくるかもしれません。そういうときに、行政の方から無理に、例えば種はどういうふうに住入れてとか、1年目はどのエリアに植えて、2年目はどこのエリアに植えて、などということについて精緻な説明を求めてもあまり意味はないのではと思います。</p>
辻委員長	5分ということにしておきましょうか。
坂本委員	そうですね。
施副委員長	今回は少ないと思いますが、パワーポイントを使って説明するのは7分あっても短いです。10分、15分は欲しいと思います。
辻委員長	であれば一応5分という事にしておいて、発表者がもう少し時間が欲しいということであれば、じゃあ10分あげましょうという事でも良いのではないで

	<p>すか。原則5分という事で。</p>
事務局	<p>あまり裁量の余地があると、他の団体の視点からすれば公平性に欠けるかと思えます。</p>
増田委員	<p>おそらくプレゼンの時間を延ばすとかなり批判が来ると思えます。</p>
事務局	<p>事務局としてはプレゼンは最大5分という書き方をして、質疑応答の時間は記載していないので、うまく委員の皆さまに引き出していただくという事をお願いしたいと考えています。質疑応答を含めて時間を決めてしまうと結局同じ事にもなりますし。</p>
辻委員長	<p>昔、ニューヨークタイムズで、ある企業が1面を使って広告を出していて、その広告というのが1行か2行ほどのメッセージなのですが、あるときの言葉で「名刺の裏に自分のしたい事を書けなければ、それは君は何も考えていない事と同じことだ」というものがありました。つまり、自分のやりたい事というのはそんなに長く書かない方が良くもありません。いろいろ長い説明をしなければいけないという事は逆に言えば自分の考えがまとまっていないという事で、であれば増田委員が言われるように5分というのは少し長いかもしれませんね。最大5分で良いのではないですか。</p>
坂本委員	<p>5分でプレゼンを切って、プレゼンをされている方がもっと言いたいというのがあれば、こちらからそれを汲み取って、質疑の時に投げかけたら良いと思います。あ、ちょっと言い足りないだろうなというのは何となく感じると思いますしね。</p>
辻委員長	<p>ではそういう方向で進める事にしましょう。</p> <p>本日は、補助金の交付要綱、審査要領等について、最終的な取りまとめを行いたいという事でした。何も他にご意見がないようでしたら、本日はこれで終</p>

	了としたいと思います。ありがとうございました。
--	-------------------------

※辻委員の「辻」の表記は、正しくはしんじょうの「、」がひとつですが、表記の関係上「辻」としています。